

4. 単元指導計画（全8時間）

	1（本時）	2	3	4
ね ら い	減少の場面について右手でブロックを動かし取り去る操作を通して、減法の意味を理解し、数字や記号を用いて減法の式に表すことができる	減少の場面を図にかいたりブロック操作をしたりすることができ、減法の式に表し答えを求めることができる	減法の式と絵を見て、減少の問題を作ることができる	比較の場面についてブロックを1対1に対応させる操作を通して、減法の意味を理解し、数字や記号を用いて減法の式に表すことができる
主 な 学 習 活 動	<ul style="list-style-type: none"> 絵を見て減少の場面をとらえる <p>問:のこりはなんびきになるでしょう</p> <p>課:<u>のこりはなんびきになるか、ブロックをつかっておはなししよう</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ブロックの操作をして残りを求める 言葉で表すことができる ひきざんの用語を知り、式と読み方を知る <p>まのこりのかずは、はじめにあったかずからブロックをとって、のこったブロックをかぞえればよい</p>	<ul style="list-style-type: none"> 絵を見て減少の場面をとらえる <p>問:のこりはいくつになるでしょう</p> <p>課:<u>のこりはいくつになるか、えやしきにかこう</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ブロックをとる操作から減少の意味をつかむ 簡単な絵や式に表し、答えを求める 減少の場面になる言葉を見つける <p>ま「あげると」や「たべると」はひくこととおなじなので、ひきざんのしきをかき、こたえをだせばよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 絵を見て減少の場面をとらえる <p>問:7-4のしきになるおはなしをつくろう</p> <p>課:<u>ひきざんのはなしになることばをかながえて、おはなしをつくろう</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 7-4の話をつくる 問題の意味を確かめながら、ブロックで操作する 式にあらわし、答えを求める <p>ま「かえると」や「とんでいくと」などひくこととおなじことばは、たくさんある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 絵を見て比較の場面をとらえる <p>問:あかいきんぎよは、くろいくんぎよよりなんびきおおいでしょう</p> <p>課:<u>なんびきおおいか、ぶろっくをつかっておはなししよう</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ブロックをならべ、1対1対応の操作と関連付けて数を求める 黒い金魚に対応する数を赤い金魚の数から取り去って残った数が違いであることにきづく 式にあらわし、答えを求める <p>まおおいほうのブロックから、すくないほうのかずとおなじだけブロックをとって、のこったブロックをかぞえればよい</p>
評 価 規 準	<p><考え方></p> <p>金魚をブロックに置き換えて、ブロック5個から2個とればよいと考えることができる</p>	<p><知識・理解></p> <p>あげる・たべる・とんでいくの表現がひくことを意味することを理解できる</p>	<p><関心・意欲・態度></p> <p>絵や身近な場面を思い出しながら、残りを求めるお話を作ろうとする</p>	<p><考え方></p> <p>1対1の操作と関連付けて、ちがいはひけばよいことに気づく</p>

	5	6	7	8
ね ら い	比較する対象の数をとらえ、「ちがいは何個」の表現から、減法の式に表して答えを求めることができる	減法の式と絵を見て、比較の問題を作ることができる	ひき算カードを使って練習し、10以下の数から1位数をひく減法の計算が確実にできるようにする。また、答えが同じになるカードを集めることができる	0を含む1位数の減法について、式の意味がわかり、立式し、答えを求めることができる
主 な 学 習 活 動	<ul style="list-style-type: none"> 絵を見て比較の場面をとらえる <p>問: おさらとけえきのかずのちがいはなんこでしょう</p> <p>課: <u>ちがいはいくつになるか、ブロックをつかっておはなししよう</u></p> <ul style="list-style-type: none"> お皿とケーキの数を正しく数える ブロックを並べ、1対1対応の操作と関連付けて数を求める 式にあらわし、答えを求める 比較の場面になる言葉を見つける 計算練習をする <p>まちがいのときも、おおいほうのブロックから、すくないほうのかずとおなじだけブロックをとって、のこったブロックをかぞえればよい</p>	<ul style="list-style-type: none"> 絵を見て比較の場面をとらえる <p>問: 6-3のしきで、ちがいのおはなしをつくろう</p> <p>課: <u>なにとなにのかずをくらべるかかんがえて、おはなしをつくろう</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 絵を見て何と何を比較するか考える 6-3の話をつくる 問題の意味を確かめながら、ブロックで操作する。 式にあらわし、答えを求める <p>まくらべるものをみつけて、「どちらがおおい」「~のちがいはいくつ」ということばをつかうとよい</p>	<p>問: <u>かあどをつかってひきざんのれんしゅうをしよう</u></p> <p>課: <u>じゅんじょよくならんだかあどをみてきづいたことをおはなししよう</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 計算カードを使ったひき算の練習の仕方を知る 答えが同じカードと、順序良く並んだカードと見比べて、並び方を考える カードを使ってひき算の練習をする <p>まこたえがおなじかあどは、いくつもある。</p> <ul style="list-style-type: none"> おなじこたえのかあどは、ななめにならんでいる たて(よこ)にみると、こたえが1ずつへっている 	<ul style="list-style-type: none"> 絵を見て場面をとらえる <p>問: <u>のこりはなんぼんになるでしょう</u></p> <p>課: <u>のこりはなんぼんになるか、かんがえよう</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ボーリングゲームをする 記録をもとに式をつくる 1本も倒れなかったときは、0本と考えて式をつくり、答えを求める <p>またおれなかったときは、0ほんにしてひきざんする。0をひいても、こたえはかわらない。</p>
評 価 規 準	<表現・処理> 「ちがいは何個」の表現から、減法の式に表して答えを求めることができる	<関心・意欲・態度> 絵や身近な場面を思い出しながら、ちがいを求めるお話を作ろうとする	<表現・処理> カードを使って、10以下の数から1位数をひく減法の計算が正しくできる	<知識・理解> 0をひいても答えは変わらないことが理解できる